

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ファースト
住 所	新潟市東区竹尾4丁目11-5
電話番号	025-250-7458

事業所番号	1510102211
管理者名	蝦名 希美
対象年度	令和4年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>株式会社宏和様 指定企業</p> <p>週1～2回</p> <p>果実・野菜の加工作業</p> <p>活動利用者数3～4名</p>	<p><活動の様子> 写真(1) 写真(2)</p> 
<p><目的></p> <p>施設外での就労活動の経験を重ねることで作業スキル、体力、自信、対人スキル等の向上を促進。積極的な社会参加や地域貢献への思いを高めること、また、生産活動収入の増加を目的、目標としている。</p>	<p>写真(3)</p> 
<p><成果></p> <p>今まで他方の農福連携等で習得してきた作業スキルを活かしつつ、レベルの上った作業にも取組んでいる。加工素材ごとの作業手順はその都度の確認が必要ではあるが、加工作業開始時から終了までに必要とされる準備や動きは、自ら率先し行うことができている。委託先様からの評価や課題を共有させていただくことで、事業所での生産活動における自己評価や、自己目標の設定にも繋がっている。</p>	<p>写真(1) しらぬいの皮むき作業 ジャムに加工します。</p> <p>写真(2) 干し大根完成品 大根のカットから乾燥まで行いました。</p> <p>写真(3)スライサーで菊芋のカット作業を行いました。</p>

連携先の企業等の意見または評価

【連携した結果に対する意見または評価】

- ・ 作業指示書の通りに作業が出来ていました。
- ・ 伝えたこと、教えたことを理解し、丁寧な作業が出来ていました。
- ・ 指導員の方も理解力や指導力が高く様々な作業がある中、作業手順などもすぐに覚え、的確な指導に感謝しています。

【今後の連携強化に向けた課題】

- ・ 丁寧な作業を維持しながら作業スピードを上げる事。
- ・ マニュアルにないことへの対処、臨機応変な対応。

(例)果物の大きさによって、6等分または7等分にするのかの判断

連携先企業名	株式会社 宏和	担当者名	川嶋 祥
--------	---------	------	------